

事業②	サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業	担当課 成長戦略部まちデザイン課
総合戦略における位置付け	基本目標2:新しいひとの流れをつくる 施策1:都市ブランドの推進 基本目標4:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 施策5:地域で支えあえる環境づくり	

【関連する数値目標(KPI)及び実績】

項目		事業開始前 (令和2年度)	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市に愛着と誇りを感じている市民の割合	目標	—	53	54	55
	実績	38.2	37.6	41.8	—
市に住み続けたいと感じている市民の割合	目標	—	58	59	60
	実績	41.2	45.1	45.3	—
社会動態の転入者／転出者の率	目標	—	94	96	98
	実績	81	88.5	91.9	—

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和6年度 実施事業	(1) 令和6年度実施事項 令和5年度実施のUR南花台団地集約事業跡地活用に伴う基本・実施設計による工事発注を実施したが、5月に入札不調(不落)となった。原因は主に近年の物価高騰によるもので、至急事業費縮減の設計見直しを行い、再発注の末11月に落札となった。 設計見直しの際には、市の附属機関として学識経験者や地域住民代表等で構成される「河内長野市UR南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会」に変更内容を諮り、当初設計していた新たなサッカースタジアム併設都市公園のコンセプトを崩さない変更を行った。 設計見直しの期間を要することで新しい公園オープン時期が遅れることを少しでも吸収するため、見直しに係らない土砂搬出工事のみを先行で発注し、8月には着手させた。 サッカーチームとの連携では、河内長野市民デー、選手との交流会等を実施した。 ※令和6年度は前述のとおり執行予定事業が遅れたため、執行事業費すべてについて国庫補助金の充当を行った。 寄附金は改めて令和7年度より(仮称)南花台中央公園整備事業への充当を行う。(以下、令和6年度執行事業費) ・発注支援等業務委託費4,510千円 ・土砂搬出工事請負費(前払金)49,400千円 (2) 企業版ふるさと納税受領額 163,200千円(10社)	○公園整備に関する住民説明会 (6/29、1/19) ○河内長野市民デー実施(6/23、9/29) ・参加人数500人程度 ○サッカーチーム選手との交流会実施(8/18) ・参加人数約200人 ○跡地活用における工事現場周囲仮囲いを利用したアートワークショップを実施。 ・カッティングシート貼り絵作成延べ150人 ・現地貼り参加人数10人	53,910
	(合計)		53,910

担当者評価	【令和6年度評価】	【令和6年度の評価内容】
	③効果があった	・ 工事入札不落により事業進捗の遅れはあったものの、並行してサッカーチームと連携した行事は予定通り遂行でき、寄附金により公園整備が進んでいる地域住民の実感に直結している。 ・ 令和5年度から引き続き、企業版ふるさと納税寄附金を事業費の一部財源として充当し、事業のハード整備が実現しつつある。 ・ 企業版ふるさと納税を活用した事業推進とともに、新たな公園施設完成後に向けた地域参加型のワークショップ、説明会での意見交換により注目度も上昇している。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	令和5年度から寄附金充当を開始しており、現在サッカースタジアム併設都市公園のハード整備中であり、国庫補助金と共に令和8年まで充当を予定している。工事中の現場見学会、地域既存公園等を活用したワークショップによる注目度維持を図る。 寄附金の伸び悩み解消に加え、物価高騰による事業費膨張の抑制を行うことが重要であり、公園施設オープン後の企業と地域の連携、関係性を構築するため関係課の連携が必要である。

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業が総合戦略における位置付け・関連するKPI達成のために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	